

## 安全・安心で快適な学習環境



- ①全棟各階に設置した手洗い場と新たに整備した洋式トイレ
- ②1階渡り廊下にある靴箱と車いす用のスロープ
- ③暑湿気を損なわないために設備を屋根裏に納めた空調
- ④火災のリスク軽減のためIHコンロを設置した家庭科室
- ⑤風格を残し改装された図書室
- ⑥利便性の高い可動式の黒板とプロジェクターを整備した教室で学ぶ子どもたち



## 意匠の「継承」と当初の姿へ「復原」



⑦歴史が感じられる階段 ⑧当初の意匠をのこした応接室 ⑨玄関に復原した装飾「頂華」 ⑩復原した玄関の扉と長石の階段



▲改修保存工事を終えた校舎（手前の校舎から第1、第2、第3校舎）

校舎改修は木のぬくもりや伝統的な風格をのこす「復原」を意識し、手すりや建具など再使用できるものは意匠を保ったまま継承。教室の空調は全て天井裏に納め、当初の装いを残しています。第1校舎の玄関は建設当初の技法と素材を採用し、熟練した職人の手によって、扉と長石の階段が「復原」しました（写真10番）。

◆問合せ 教育総務課（市役所内線539）

### 意匠の「継承」と「復原」

また、主要な教室全てに空調を整備し、全棟各階に洋式トイレと手洗い場を新設。さらに、バリアフリーを目的として、渡り廊下にスロープを設置したり、第2校舎にエレベーターを整備したりして、安全・安心、そして快適な教育環境を整えました。

備しました。

市は改修工事に向けて、神戸大学大学院人文学研究科と連携協定を締結。耐震補強やバリアフリー、快適な学習環境の確保などを実現するため、調査や研究が行われました。市は実施設計を終えた平成29年6月、保存改修工事に着手しました。

### 3棟とも保存改修。耐震補強と快適な学習環境の確保

市は改修工事に向けて、神戸大学大学院人文学研究科と連携協定を締結。耐震補強やバリアフリー、快適な学習環境の確保などを実現するため、調査や研究が行われました。市は実施設計を終えた平成29年6月、保存改修工事に着手しました。

以上が経過しており、耐震性などの問題から、平成25年7月に取り壊しが決定。しかし、市民から「改修し保存してほしい」と声が上がリ、委員会や専門部会で検討を重ね、平成27年1月に木造校舎に改修工事を施して保存することとなりました。

西脇小学校の木造校舎3棟は、昭和9年から11年にかけて建設され、平成20年3月に兵庫県の景観形成重要建造物に指定されました。

校舎は建設されてから80年以上が経過しており、耐震性などの問題から、平成25年7月に取り壊しが決定。しかし、市民から「改修し保存してほしい」と声が上がリ、委員会や専門部会で検討を重ね、平成27年1月に木造校舎に改修工事を施して保存することとなりました。



西脇小学校の木造校舎3棟は、昭和9年から11年にかけて建設され、平成20年3月に兵庫県の景観形成重要建造物に指定されました。



生まれ変わった西脇小学校の第1校舎。屋根や外観は当初の色へ近づけるため色彩調査が行われた。

市民の思いとともに、再出発

西脇小・安全性と歴史的価値の両立

「子どもたちの安全の確保」と「文化財としての価値の保存」の両立を目指して進められた西脇小学校木造校舎保存改修工事。今年8月に改修工事が完了した木造校舎3棟は、2年2カ月の歳月をかけ、歴史的価値を残したまま、安全・安心な校舎へと生まれ変わりました。これからは市民の思いとともに、新たな歴史を刻んでいきます。

## 式典に卒業生や保護者ら約350人が出席



保存改修工事が完了し、9月15日に同校で竣工式を開催しました。式典には学校関係者らが出席し、市長らがテープカットを行いました。式典後は一般向けの内覧会を開催。卒業生など約350人が参加し、風情ある校舎に入っていました。

## ◎内覧会参加者へインタビュー！



同校卒業生の柳久子さんと、泰世くん親子

職員室の場所や教室の扉、建具も当時のままで、とても懐かしかったです。昔の雰囲気を残したまま、空調やトイレもきれいになっていて、来年から安心して子どもを通わせることができそうです。

